

# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第30号(20111110)

発行 竹田幸男

平成23年11月例会



11月10日、発表会直前の例会を行いました。作品の確認、プログラムの配布、当日の役割分担決定、後は当日を待つのみ。

## 第5回ビデオ作品発表会盛大に開催



11月26日(土)発表会当日は松心会館会場に8:30集合、会員が手分けして会場の設営、映像機器の設営・調整、音声の調整を行い、開始時刻直前に完了、10:30より第1回の映写を行いました。会場はちょうど満席、出

だしに映像や音が出ないトラブルもありましたが順調に進行、皆さんの力作に拍手が送られました。13:30からの2回目の映写を終わって1階和室で打上会、乾杯で今日の疲れを癒やしました。

## 文化のにぎわいフェスタ 市民映像作品発表会への出品

今年の寝屋川市市民文化祭は市制施行60周年を記念して寝屋川市駅前に竣工した「アルカスホール」を中心に「文化のにぎわいフェスタ」というタイトルで行われました。その中で「市民映像作品発表会」はアルカスホールで行われ、全16作のうち映像同好会会員は6作を出品、アルカスホールを8分通り埋めた観客の拍手に迎えられて発表を終わりました。

## 例会の窓

### 平成23年11月例会

日 時 平成23年11月10日(木)  
13:30~16:00

場 所 寝屋川市民活動センター4階 こども部屋

出席者 天野 新井 石田 小笠原 佐伯 竹田 谷 田淵 (8名)

欠席者(4名)(50音別 敬称略)

#### 例会次第

##### 1. 報告・連絡・協議事項

##### (1) 寝屋川まつり感謝会の状況報告

- ・10月28日(金)関係者数十名が参会、その場で会員も撮影に参加した寝屋川まつり編集作品を大映写され、好評を得た。

##### (2) 撮影会プロジェクトチーム(天野さん、小笠原さん)

- ・12月映像協会撮影会の詳細報告(「第2回 撮影会のご案内」の通り)
- ・12月4日(日)実施。雨天の場合は、12月7日(水)
- ・出席予定 天野 新井 石田 小笠原 佐伯 竹田 昼食は各自自由
- ・宇治川・興聖寺をメインに周辺の紅葉をテーマにして
- ・京阪宇治駅。10時集合
- ・自由行動での撮影が基本。撮影講習会も実施(講師:勝二氏予定)

- ・解散は15時10分を予定

##### (3) 忘年会プロジェクト(石田さん)

- ・詳細報告と出席者確認。

- ・出席予定 天野 新井 石田 小笠原 佐伯 竹田 田淵

##### (4) 来年の映像フェスティバルの件(竹田 新井)

- ・4月下旬にプログラム完成

- ・ 3月下旬に作品詳細決定
- ・ 3月例会で作品映写・完成
- ( 5 ) 第 5 回ビデオ作品発表会の件
  - ・ 出席予定 天野 新井 石田 小笠原 竹下(打上欠席) 竹田 谷 田淵
  - ・ 1 1月 2 6 日(土) 8 時 3 0 分現地集合
  - ・ 1 1月 松愛会会報末尾に、日時・会場案内が掲載されている。
  - ・ 1 1月 1 0 日(木) 例会に作品 2 本を準備。1 本は竹田さんに、あと 1 本は各自が当日持参すること。
  - ・ 全作品を映写順に 1 本にまとめないで上映する。
  - ・ 各人の役割 例会で配布した表による。
  - ・ 例会で P R 用プログラムを配布した。
- ( 6 ) 今年のにぎわいフェスタの結果
  - ・ 各人の作品中での音量バランスの問題(今月の会報記事参照)
- ( 7 ) 映像協会総会に関して
  - ・ 3月第 4 日曜日に実施
  - ・ 同好会総会は 3 月例会時に実施
- ( 8 ) テレビアンケートの実施
  - ・ 作品がどのように見られているか。テレビの実情に合わせた作品作りのために実施
- ( 9 ) 1 月の合同例会予定
  - ・ パネルディスカッションを予定
  - ・ 内容 会員・観客の高齢化 作品の質の向上 著作権について  
カメラのテーブルレス化・ハイビジョン化
- ( 1 0 ) 「NVC Monthly」の記事執筆者の件
  - ・ 次回担当 竹嶋さん。無理な場合は谷さん(竹田さん確認)
- 2 . 作品発表(第 5 回ビデオ作品発表会出品作品)
  - 「女性の匠と鶉が織りなす華麗な世界」 新井さん 9 分
  - 「大阪市平野区 博物館を訪ねて」 新井さん 8 分
  - ・ ナレーションを入れた修正版 一部修正をされる。
  - ・ 文字段落をなくして揃える方が良い(以上、2 作品とも)
  - 「人生の扉」 天野さん 6 分
- 4 . 次回・次々回例会
  - ・ 1 2 月 2 日(金) 1 3 : 3 0 ~
  - ・ 寝屋川市市民活動センター 4 階 こども部屋
  - ・ 1 2 月例会 カメラ担当: 竹下さん。
  - ・ 1 月例会 1 月 1 3 日(金) 予定(新春食事会を含む)



## ありがとう！ 作品発表会を終えて

谷 弘子

一年前同好会の食事会で、竹田会長とお話する機会があり、その時に「最近嬉しかった事がありました。」から始まり、詳しい話を聞いて頂きました。

その内容の一つは、私の父が入退院を繰り返すようになり長年楽しみながらしていた菊作りが出来なくなり、主人が教えてもらいながらチャレンジすることになり、秋には見事に咲いた菊の写真を父に見てもらおうことが出来た事。

もう一つは、主人のやさしさにふれ とても嬉しかった話です。

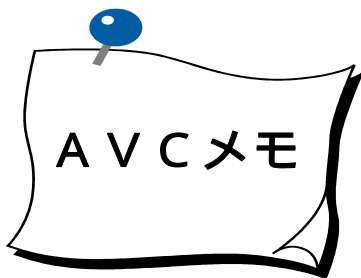
以上2点の話をするると竹田会長から「谷さん、次の作品が決まったね。女性にしか出来ない作品です。これからは、その作品の事だけに集中して下さい。」とのお話を頂きました。

父の思い出の作品になればいいし、今まで小さな苗から三本仕立ての菊の花が咲いていく様子をビデオに撮っていたので、どうしようか？ 悩みましたがやってみることにしました。

最初は、8ミリで撮った40年前の映像から始まります。映像で父母の姿を見ると涙がでて次に進まないという繰り返し。数か月たつうちに、父母の懐かしい笑顔を何度も見ることができて幸せだなあと思う気持ちに変わっていきました。BGMは夜中にラジオから流れてきた音楽が気に入りNHK「坂の上の雲」の一部の曲に決め、ドキドキしながらナレーションも入れて完成しました。

今まで一つの作品で、こんなに時間を費やしたことがありませんでした。今は達成感を感じています。

自分自身を褒めてあげたいなあと考えています。



## 3 D 映 像 考

竹田 幸男

先日、ある例会で「3Dのビデオカメラで撮した」2D映像を見ました。カメラはソニーのHDR-TD10で、「フレームパッキング方式」で、本機は「左目用、右目用とも1920×1080のフルハイビジョンの映像」、2D撮影すればフルハイビジョンの60pの映像と謳われていますが、例会では3D撮影されたものの片方のチャンネルを映写されました。見た感じとしてはハイビジョンらしくかなり細かいところも見える反面、もう一つはっきりしないところ

が有り、普通のAVCHDのフルハイビジョン映像にはとても及ばないと感じました。60iの映像を1フィールド飛ばして見ているのか、と思われ、そのための解像度の低下があると思われれます。その場合、推察ですが左眼用の映像は奇数フィールド、右眼用の映像は偶数フィールドと仮定すれば、左眼用の映像のチャンネルを取り出せば奇数フィールドだけを見ることになるので、垂直方向走査線は半分という非常に荒い映像を見ることとなります。これを防ぐには左右それぞれのチャンネルとも奇数フィールド、偶数フィールドの繰り返しをすれば、どちらかかのチャンネルを取り出しても、まともに見られるわけですが、信号の伝送量を2倍にしなければならず、恐らくそのようにはなっていないと思います。

もちろん、このカメラは2D撮影すれば60pの映像も撮れるので、そのときはすばらしい映像が見られるのだらうと思います。今回は「3D目的で撮った映像を2Dでも見てもらえるか」という目的で持ってこられたものと思いますが、結果として3Dで撮影して3Dで見て楽しみ、また例会へ持って行って2Dで見てもらう、という二股を掛けるのは難しいようです。

3Dはアマチュア映像としては難しい面があります。例会や発表会の場で見てもらうためにはまず映写設備、すなわち3D用の再生機、プロジェクターを備えなければなりません。そして観客も全員メガネが必須です。映画館のような営利施設では無いので、不特定多数のためのメガネの用意ができません。裸眼（メガネなし）で見られる3Dも開発されていますが、まだ普及していません。また、裸眼で見られるのはモニターだけでスクリーンへの映写は出来ません。また、3D映像の方式はフレームパッキングのほかにサイド・バイ・サイド方式を初め十指に余る方式が乱立しているので、機器の組み合わせも難しいでしょう。

今の所、3Dの映像は極端に誇張されているという感じで、たとえば遠くの建物と手前の人間の間の遠近感は非常に感じますが、遠くの建物も1枚の看板のように見え、手前の人間も1枚の看板のように見え、いつも見ている現実の風景とは異なった誇張された表現で、見ていると神経が疲れます。

また、作品を作る立場からは、過去に撮った2D画像や2Dの写真を挿入した場合、2Dと3Dの混在が不自然さをもたらすのでは無いかと考えます。

アマチュアとしては、3D映像は個人で楽しむためのもので、例会や発表会での映写には敷居の高い存在だと感じます。